



# すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/suqi3shou/>

令和3年8月号

杉並区立杉並第三小学校  
〒166-0003 杉並区高円寺南 1-15-13  
TEL 03-3314-1564  
FAX 03-3314-1449

## 「探究」に浸る夏休みに…。

校長 森賀 慎一

長いようで短かった1学期が、ようやく終わろうとしています。4月1日にこの杉並第三小学校に着任して以来、授業や学校行事等、様々な杉三小の素敵な場面を見ることができました。子どもたちが生き生きと活動する姿は、見ていて本当に嬉しくなります。先日の合唱祭には大変多くの保護者の方々にご来校いただき、1学期の集大成と言ってもよいくらい、子どもたちの成長した姿をご覧いただけたことと思います。音楽専科の保坂先生をはじめ各担任の先生方の子どもたちへの思いが、参観された皆さんにも届いたのではないかと感じています。

さて、いよいよ明日からは夏休みです。今週から4回目の緊急事態宣言が発令されました。ワクチンも十分行き渡っているわけではないので、なかなかご家族で遠出するのも難しいかもしれません。せっかくの夏休みなのに…という子どもたちの気持ちも分かりますが、ここは「ピンチをチャンス」に変えて、自由研究に力を入れてみてはいかがでしょうか。

今、教育界では「探究」がキーワードの1つになっています。まず、自分の興味のあることは何だろうという課題探しからスタートします。ここをぜひ丁寧に、時間をかけてほしいと思います。私は4人の子どもの父親であり、一番下は小学校4年生なのでまさにこの夏、息子の興味のあるもの見つけに寄り添い、自由研究という「究極の探究の学び」に一緒に取り組もうと考えています。

そしていよいよ課題が決まったら、次に考えるのはどうやってその課題を解決するかという方法探しです。ここで大切なのは、「体験」をどう取り入れるかです。サポートする親としては、試行錯誤させて、できれば一度くらいは失敗する体験もさせたいところです。そのためには、最初からあまり口出しせず、子どもが困ったときにアドバイスすると、感謝され軽く尊敬されるのではないかと期待しています。同時に、どう解決していくかという道筋や見通しをもつ体験もさせられるといいなと考えています。

また、探究した内容をどうまとめるのかといったことにも相談に乗っていただけるとありがたいです。スケッチブックのようなものを使って本としてまとめるのか、模造紙に大きく見やすくまとめるのか、今風ならパソコンでプレゼンテーションソフトにまとめるのか…。写真やイラストも活用できそうですね。

最後に、結果のまとめですが、課題が決まった時に結果を予想しておく、その予想がどうだったかが、研究の成果にも生かせそうです。課題の解決に活用した参考文献を載せたり、協力していただいた方も載せたりするなんて工夫も面白いですね。そして最も大事なのは子どもの感想です。結果として分かったことも大事ですが、この探究活動を通して何を感じ、何を学んだのかをぜひ聞き取ってください。それを大いに褒めてあげてください。それがサポーターとして親ができる、最高の仕事ではないかと思っています。

ここまで書いてきて、こんな大変そうなこと本当にできるかなと、私自身親としてちょっと弱気な気持ちになってきました。でもそんなにすごいことでなく、子どもたちの身近なこと、興味のあることを一緒に探るところから始めて、一歩引いたところから子どもと一緒に楽しんでしまえばよいのではないかと考えています。

学校では、総合的な学習を中心にこの探究的な学習に取り組んでいます。夏休みに、保護者の皆様と一緒に自由研究を通して「探究活動」の楽しさを味わった子どもたちは、より一層学校での学習にも意欲的に取り組んでいくのではないかと期待しています。

2学期、杉三小の子どもたちがどんな自由研究をしてくるのか、今から楽しみにしています。繰り返しになりますが、素晴らしい内容とか高尚な研究などでなく（もちろんそういうものでも構いませんが…）、子どもが自分で考えたり選んだりしたものの方がいいなと思っています。ぜひ「探究」に浸る夏休みを、お子さんと一緒に楽しんでいただけたらと願っています。



【合唱祭で心を込めて歌う子どもたち】